

## [マツダ]レーザセンサ点検（簡易点検） （例：デミオ DJ5FS）

### 注意：

- ・目を傷めるおそれがあるため、レーザセンサから 100 mm以内の距離で、拡大鏡・顕微鏡・対物レンズなどの拡大機能がある光学機器を使用して、レーザセンサを覗き込まないで下さい。
- ・簡易リフレクタは作業者が手に持って掲げる必要がある為、鉄板などの重い素材を使用すると落下させるなどして思わぬ事故のおそれがあります。簡易リフレクタを作成するときはプラスチック版、厚紙などの軽い素材を使用して下さい。
- ・車両前方に 6 m 以上の空間を確保して下さい。
- ・トランク内の荷物は全て降ろし、空車状態にして下さい。
- ・全てのタイヤの空気圧を規定圧に調整して下さい。


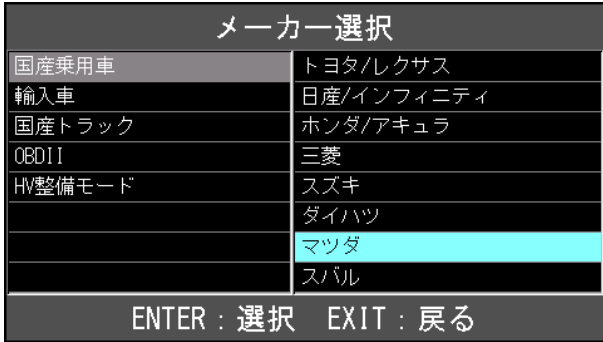
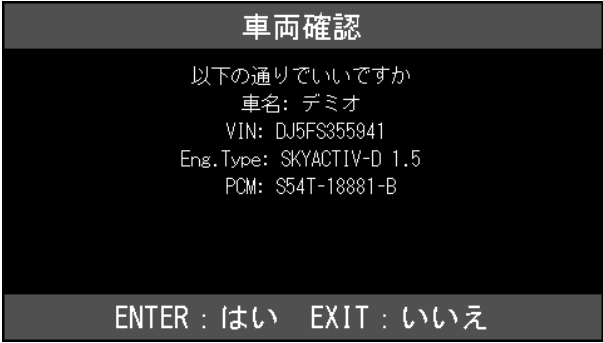

### 参考：



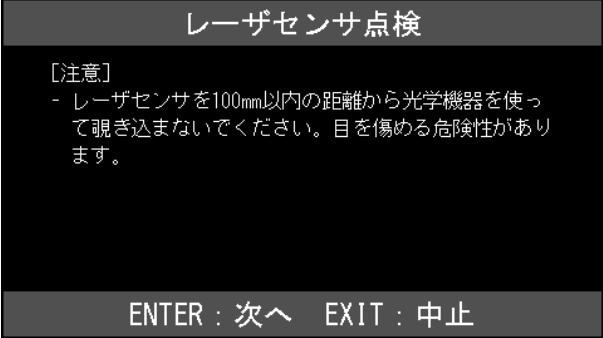
- ・フロントウインドガラス上部中央の黒色プリント部（近赤外線レーザ照射部分）にくもりや水滴がある場合、レーザセンサが誤作動し正しく点検出来ません。外側のくもりであればフロントワイパを作動させる、内側であればエアコンディショナのデフロスタを作動させるなど、それぞれの状態に合わせて除去して下さい。

手順/操作

● レーザセンサ点検（簡易点検） ※一部イラストは整備書より引用しております

<p>1.</p>	<p>一辺が 50cm 以上のプラスチック版、または厚紙等を用意して下さい。 その板に市販のアルミ箔を 3 枚貼り重ねて簡易リフレクタを作成して下さい。（アルミ箔が 2 枚以下の場合、近赤外線反射が弱くなり正確に距離を測定出来ない可能性があります。）</p>	
<p>2.</p>	<p>レーザセンサの点検は 2 回行いますので、フロントバンパ前端から 6m の位置に 1 回目計測点をマーキングして下さい。次に同じくフロントバンパ前端から 4m の位置に 2 回目計測点をマーキングして下さい。この車両前方 6m の空間は高さ 1.5m 以上を確保して下さい。</p>	
<p>3.</p>	<p>イグニッションスイッチが OFF であることを確認し、MTG2000-S を車両に接続して下さい。</p>	

<p>4.</p>	<p>イグニッションスイッチを ON にして 下さい。 (ブレーキペダルを踏まずにプッシュスタート スイッチを 2 回押します)</p>	
<p>5.</p>	<p>『メーカー選択』から[国産乗用車]、[マツダ] を選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>6.</p>	<p>『車両確認』で車両を自動で検出します。 検出された情報に間違いが無い事を確認して [ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>7.</p>	<p>『マツダメインメニュー』から [作業サポート]を選択し[ENTER]を押して 下さい。</p>	

<p><b>8.</b></p>	<p>『作業サポート』から[SCBS]を選択して[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p><b>9.</b></p>	<p>『SCBS』作業サポートから[レーザセンサ点検]を選択して[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p><b>10.</b></p>	<p>[注意]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レーザセンサを 100mm 以内の距離から光学機器を使って覗き込まないで下さい。目を傷める危険性があります。</li> </ul> <p>内容を確認して[ENTER]を押して下さい。</p>	

11.

[準備]

- ・トランクの中を空にして下さい。
- ・全てのタイヤの空気圧を規定値に調整してください。
- ・フロントウインドガラス上部中央部の内外に汚れ、くもり、水滴がある場合は、除去してください。
- ・リフレクタを用意してください (一辺が50cmの正方形の軽量の板にアルミ箔を3枚重ねて張付けたもの)
- ・車両を前方に6mの空間が確保でき、水平で段差のない場所に停車してください。

内容を確認して[ENTER]を押して下さい。

レーザセンサ点検

[準備]

- トランクの中を空にしてください。
- 全てのタイヤの空気圧を規定値に調整してください。
- フロント・ウインド・ガラス上部中央部の内外に汚れ、くもり、水滴がある場合は、除去してください。
- リフレクタを用意してください (一辺が50cmの正方形の軽量の板にアルミ箔を3枚重ねて貼付けたもの)。
- 車両を前方に6mの空間が確保でき、水平で段差のない

ENTER : 次へ EXIT : 中止

レーザセンサ点検

- トランクの中を空にしてください。
- 全てのタイヤの空気圧を規定値に調整してください。
- フロント・ウインド・ガラス上部中央部の内外に汚れ、くもり、水滴がある場合は、除去してください。
- リフレクタを用意してください (一辺が50cmの正方形の軽量の板にアルミ箔を3枚重ねて貼付けたもの)。
- 車両を前方に6mの空間が確保でき、水平で段差のない場所に停車してください。

ENTER : 次へ EXIT : 中止

12.

[ステップ 1]

車両中心線上でフロント・バンパの端から前方の位置および地面からの高さをつぎ通りにして、リフレクタを掲げて下さい。

前方の位置 : 6m

地面からの高さ : 1.5m

準備ができたなら[実行]してください。

条件を全て整えて[ENTER]を押して下さい。

レーザセンサ点検

[ステップ1]

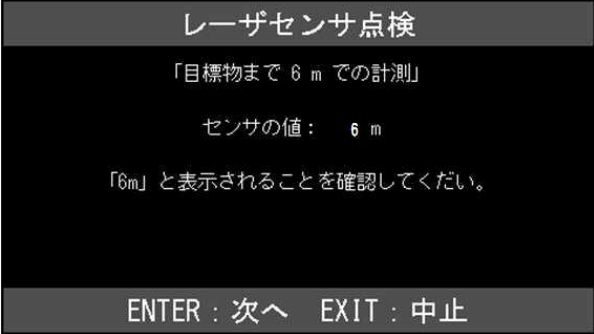
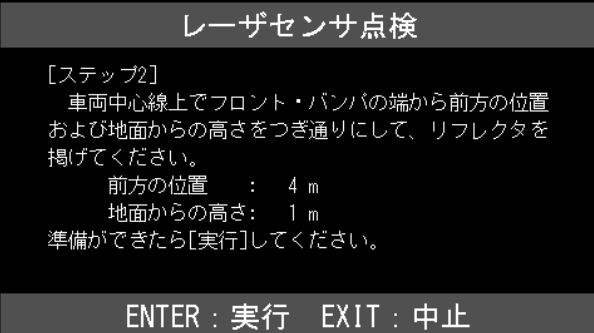
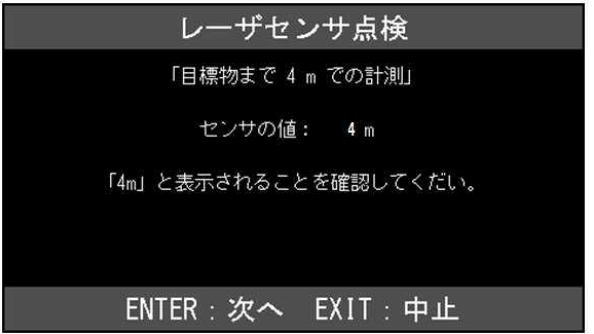
車両中心線上でフロント・バンパの端から前方の位置および地面からの高さをつぎ通りにして、リフレクタを掲げて下さい。

前方の位置 : 6 m

地面からの高さ : 1.5 m

準備ができたなら[実行]してください。

ENTER : 実行 EXIT : 中止

<p><b>13.</b></p>	<p>「目標物まで 6m での計測」</p> <p>センサの値 : 6m</p> <p>「6m」と表示されることを確認してください。</p> <p>リフレクタまでの距離が正しく計測されている事を確認し[ENTER]を押して下さい。</p>	 <p>レーザセンサ点検</p> <p>「目標物まで 6 m での計測」</p> <p>センサの値 : 6 m</p> <p>「6m」と表示されることを確認してください。</p> <p>ENTER : 次へ EXIT : 中止</p>
<p><b>14.</b></p>	<p>[ステップ 2]</p> <p>車両中心線上でフロント・バンパの端から前方の位置および地面からの高さをつぎ通りにして、リフレクタを掲げてください。</p> <p>前方の位置 : 4m</p> <p>地面からの高さ : 1m</p> <p>準備ができたなら[実行]してください。</p> <p>条件を全て整えて[ENTER]を押して下さい。</p>	 <p>レーザセンサ点検</p> <p>[ステップ2]</p> <p>車両中心線上でフロント・バンパの端から前方の位置および地面からの高さをつぎ通りにして、リフレクタを掲げてください。</p> <p>前方の位置 : 4 m</p> <p>地面からの高さ : 1 m</p> <p>準備ができたなら[実行]してください。</p> <p>ENTER : 実行 EXIT : 中止</p>
<p><b>15.</b></p>	<p>「目標物まで 4m での計測」</p> <p>センサの値 : 4m</p> <p>「4m」と表示されることを確認してください。</p> <p>リフレクタまでの距離が正しく計測されている事を確認し[ENTER]を押して下さい。</p>	 <p>レーザセンサ点検</p> <p>「目標物まで 4 m での計測」</p> <p>センサの値 : 4 m</p> <p>「4m」と表示されることを確認してください。</p> <p>ENTER : 次へ EXIT : 中止</p>

16.

簡易点検が完了しました。センサの計測値が正しくないときは、レーザセンサ本体のツメ部またはフロント・ウインド・ガラスのレーザセンサ取付け部にキズなどがいないか確認してください。該当部分に不具合があるときは交換してください。

以上で作業完了となります。

[EXIT]を数回押し『マツダメインメニュー』まで画面を戻し、イグニッション OFF にしてから安全に MTG2000-S を取り外して下さい。

レーザセンサ点検

簡易点検が完了しました。センサの計測値が正しくないときは、レーザセンサ本体のツメ部またはフロント・ウインド・ガラスのレーザセンサ取付け部にキズなどがいないか確認してください。該当部分に不具合があるときは交換してください。

ENTER/EXIT : 終了